

令和7年度 障害者支援施設 眉山園 地域連携推進会議議事録

1 開催日時・場所

令和8年3月27日、10時00分から障害者支援施設眉山園大会議室において、障害者支援施設 眉山園、地域連携推進会議を開会した。

2 出欠の記録

当日の出席状況は以下のとおりである。

会議の構成員	ご所属・氏名	出欠
障がいのある施設利用者	Y. A 様	○
利用者のご家族	T. S 様	○
地域のご関係者様	町内会会長 Y. I 様	○
福祉に知見のある方	徳島県社会福祉会 理事・事務局長 Y・T 様	○
施設所在地の市町村担当者	徳島市役所 障害福祉課	×
会議の運営に必要な職員	障害者支援施設 眉山園職員	○

3 推進会議について

① 施設長挨拶

社会福祉法人徳島県身体障害者連合会障害者支援施設眉山園、園長三橋一巳より推進会議の趣旨説明を行った。

② 施設の概要説明

施設の概要について資料を参考に説明を行った。

内容としては眉山園は昭和57年6月に重度身体障害者入所授産施設として開設し、その後平成22年10月に障害者自立支援法施工により日中活動の生活介護事業及び夜間の施設入所支援の新事業体系に移行、平成24年には施設全面改築工事を行った。また、平成13年11月にはB型事業所の社会就労センターかもなが開所、平成9年4月には眉山園デイセンターが開所した。

③ 利用者の状況報告

利用者の日常生活支援について説明。日常生活支援についてはすべての利用者が主役として、利用者の選ぶ権利を尊重している。日中は生産活動及びクラブ活動を行い、利用者それぞれがその人らしい日々を過ごせるよう支援を行っている事を説明。また、利用者の高齢化・重度化が進み、入院から介護保険移行につながるケースが増えてきていること、より専門性の高い質の高い支援ができるのかが、現在の課題になっていることを説明。

- ④ 医療体制について説明
眉山園の医療体制及びヒヤリハット、入院状況について説明を行った。
- ⑤ 苦情解決への取り組みについて説明
利用者からの苦情内容や第三者委員との話し合いについて説明を行った。
- ⑥ 意思決定、権利擁護について説明
虐待防止研修、セルフチェック、委員会の定期開催、研修委員会の活動等について説明を行った。
- ⑦ 災害時の対応について
避難訓練やBCP訓練について説明を行った。

4 施設見学

参加者と施設内を見学した。施設内見学時に下記内容の質問があった。

- ① **【Y・I様より質問】**施設内での生活に不満はないのか
【Y・A様回答】不満は特にない
- ② **【Y・I様より質問】**休日は何をしているのか？外出はしたりしていないのか？
【Y・A様回答】休日はテレビを見たりしている。外出はしていない。
【施設より回答】外出は平日の午後から近隣の商業施設に出掛けることができる。
休日は事前に届け出があれば外出可能。自身でタクシーを手配するか家族の送迎で外出をしていただく。
- ③ **【Y・T様より質問】**施設は福祉避難所として何人の収容人数を想定しているか？
【施設より回答】300人程度を想定している。
- ④ **【Y・T様より質問】**災害時の備蓄用品はどのくらいあるのか？
【施設より回答】保存食については、多目的ホール内、PAN・Vi・ZAN横の備蓄倉庫等に備蓄。3事業所利用者の3日分を確保できている。
- ⑤ **【Y・T様より質問】**商品販売や作業による売上の利益はどう配分しているのか？
【施設より回答】利益はすべて工賃として利用者に渡している。

5 参加者からの意見

【Y・I様】

賛助会や町内会の会合で夜に集まる事や会場のみお借りする事はあったが施設の中を見る機会は無かった。今回の会議で施設の概要や見学での利用者の様子、施設の設備等伺うことができよかった。今後、地域との連携として防災協定の締結を前向きに進めて欲しい。

【T・S様】

入所者が重度化、高齢化している。また退所者や入院者が多く自身の子供がいつ家族で支援できるか分からない心配な面はある。入所者の家族も年齢が上がり、会も同じ人しか来ない。

【Y・T 様】

県身体障害者連合会の設立当時より利用者主体の施設理念があった。現在の福祉状況が当時の理念に追いついて来た。今後も利用者主体の施設運営をすすめてもらいたい。全てのものをドライに捉えている大変な時代であるがより利用者を中心とした視点大切にして、県内で唯一の団体が作った施設として今後も理念を引き継いでもらいたい。施設の運営においては、高齢化重度化も進み、退所者が多くなっている。また国の施策にて時代の流れから長期入所者を地域へ移行という課題が何年も続いている。精神障害者の入院患者の移行も同じ様な事が言える。歴史がある分、時代の流れに乗るのは中々難しいと思うが、施設が変わる時期にきているとは感じる。

6 その他

次回開催時期について6月下旬から7月初旬を予定している。